

経営比較分析表（令和3年度決算）

山形県地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院（法人内診療所含む）

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	500床以上	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	31	対象	透I未訓ガ	救臨が感へ災地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	55,912	非該当	非該当	7：1

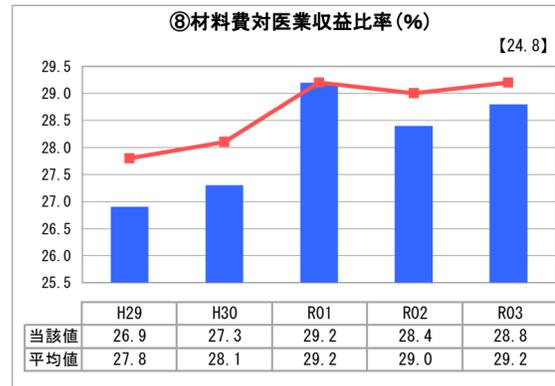
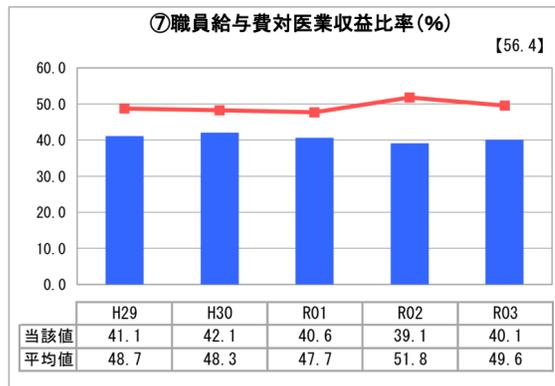
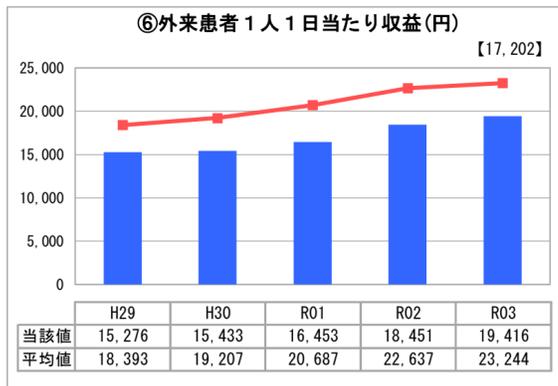
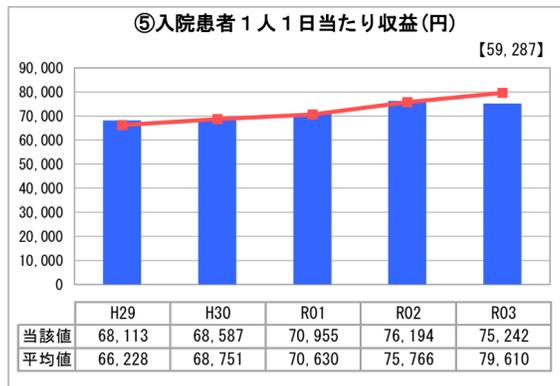
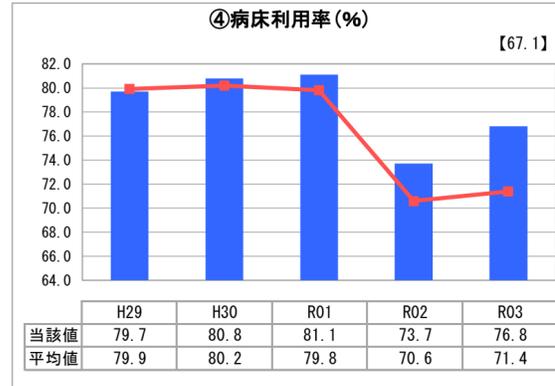
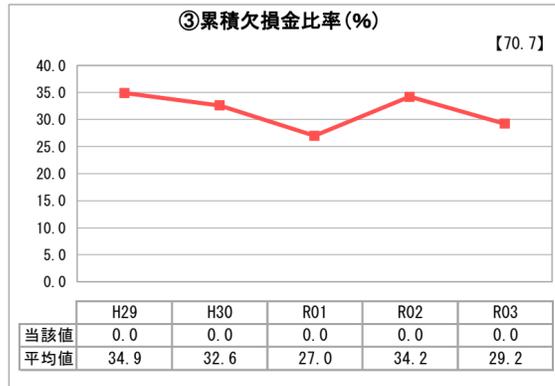
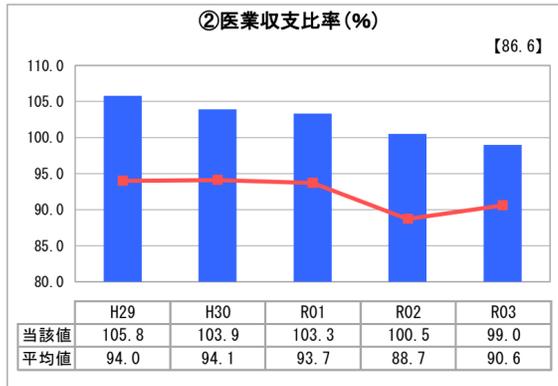
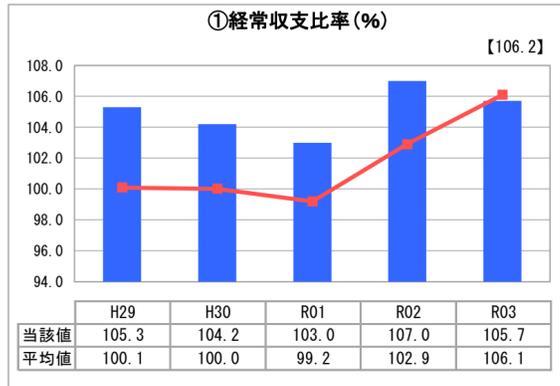
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

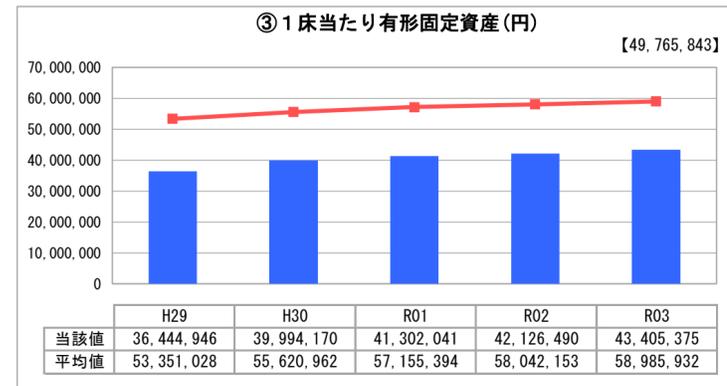
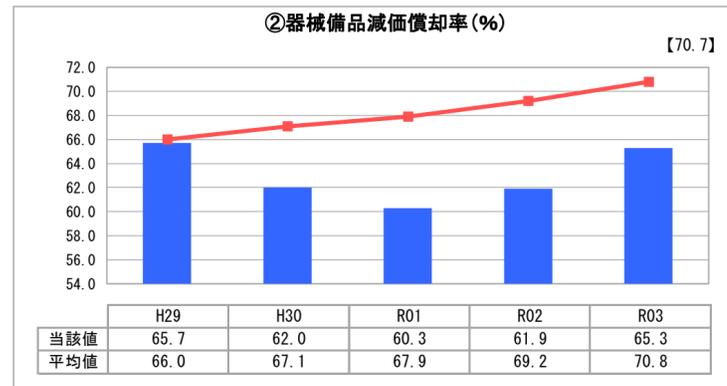
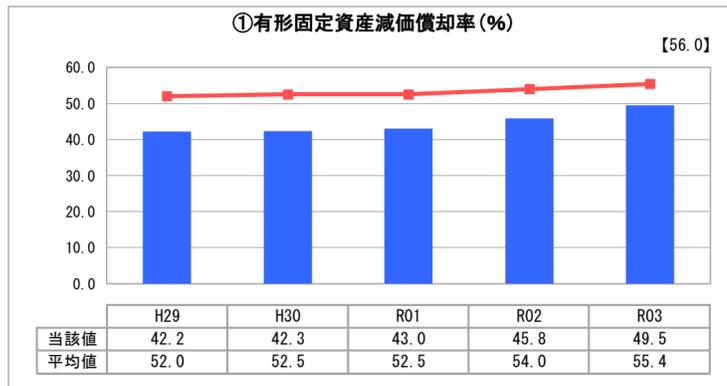
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
626	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	630
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
603	-	603

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
平成29年度	平成20年度	-年度

I 地域において担っている役割

日本海総合病院は庄内二次医療圏の中核的な医療機関として、急性期の患者に対し状態の早期安定化に向け、診療密度が特に高い医療を提供する役割を担っています。

また、平成30年度から酒田市より移管統合された日本海八幡クリニック等5つの診療所の効率的かつ効果的な業務運営を担っています。

さらには、地域の医療機関等との連携を一層推進するため、地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画等を通して、積極的に地域医療構想の実現と地域包括ケアシステムの構築に資する役割を担っています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和3年度は、「地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構第4期中期計画」の2年目に当たり、中期計画において取り組んでいくこととされていた事業計画及び財務計画の目標を着実に実施しました。

「①経常収支比率」は、中期計画の目標値である100%以上を維持しています。「②医業収支比率」は100%を若干下回りましたが、他の経営指標についてもおおむね良好な水準で推移しており、健全な事業運営を行っています。

「④病床利用率」については、前年度よりは回復したものの、新型コロナウイルス感染症が流行する以前の水準までには回復していません。

2. 老朽化の状況について

日本海総合病院では、施設の経過年数や老朽化の状況を踏まえ、優先順位に配慮した計画的な施設整備を進めています。

「①有形固定資産減価償却率」は、建物の増築工事完了から間もないこともあり、類似病院平均値に比べて低い水準で推移しています。

「②器械備品減価償却率」は、近年、リニアックやda Vinci等の高額な医療機器の整備を行ったため、類似病院平均値に比べて低い水準で推移しています。

「③1床当たり有形固定資産」は、類似病院平均値に比べて低い水準で推移しています。

全体総括

近年、医療の高度化や医療需要の多様化が進む一方で、地域包括ケアシステムの構築等が急務の課題とされています。また、国の社会保障制度改革において、病院・病床機能の分化、在宅医療の推進等の方向性が示されています。

また、新型コロナウイルス感染症の一連の対応等、医療への負担はこれまでにない程に高まりを見せています。

このような状況の中、山形県・酒田市病院機構の基本理念である「安心、信頼、高度な医療提供」、「保健、医療、福祉の地域連携」及び「地域に貢献する病院経営」のもと、地域の医療ネットワークの中核病院としての役割を果たし、良質で信頼される医療の提供に努めます。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。